



福岡県立育徳館高等学校

生徒が授業でICTを効果的に活用する

目的：主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善

背景：教員のICT活用の場面は増えてきているが、生徒の活用は…

問題

生徒が使用するICTの活用種類や準備方法がわからない。準備に時間がかかり使用をためらう。

解決方法

どんな場面でどんなICTの活用種類、方法があるのかやICTの準備方法を提示する。

○活用ICT:Googleスライド ○場面:ディベート,発表
○準備例1.クラスルームを開く



スライド

- 2.クラスを作成する
- 3.「授業」
- 4.「+作成」
- 5.「課題」
- 6.タイトル,詳細を入れる
- 7.「+」
- 8.「スライド」
- 9.タイトル,生徒用スライドを作成する
- 10.クラスルームのタブに戻る
(Googleスライドは消さない)
- 11.「生徒はファイルを編集可能にする」
- 12.右上の「課題を作成」



パワーポイントのスライドをクラス全員で共有しながら全員が編集することができる

○得られる成果

- ・様々な見方・考え方を学ぶことができる。
- ・全ての生徒が、「発表」のために協議したり、入力作業に主体的に取り組むことができる。

○活用ICT→Googleフォーム ○場面:復習

○準備例1.クラスルームを開く



- 2.「授業」
- 3.「+作成」
- 4.「テスト付きの課題」
- 5.タイトル,詳細を入れる
- 6.「Blank Quiz」
- 7.フォームの説明,表題を入れる
- 8.問題を作成する
- 9.解答集を作成し,点数を入れる
- 10.必須にする
- 11.二重三角をクリック
(Googleドライブファイルを追加)
- 12.「復習」
- 13.右上の「課題を作成」



※生徒の課題を確認したい時
・Googleフォームから確認する

解答形式が豊富に用意されておりアンケートや投票に活用できる

○得られる成果

- ・授業後にICTを使用することで,生徒の興味を引き,再度集中する場を設けることができる。
- ・自動採点であるため,採点ミスが起りにくく,確認を短時間で行うことができる。
- ・自宅での活用ができる。

○活用ICT→Pickers ○場面:復習

○準備例1.Pickersのサイトに入る



- 2.「Sign up for free」
- 3.Googleからログイン
- 4.「New set」
5. Check here to edit questionの内容を入れて確認する
- 6.「New class」
7. Classの名前を入れる
- 8.「Create class」
- 9.「Add students」
- 10.生徒の名前を入れる
- 11.「Next」
- 12.「Done」
- 13.「ADD」
- 14.携帯やiPadの「Play」
- 15.スタートから生徒が提示する紙を読み取る
- 16.読み取りを停止する
- 17.解答をチェックする
- 18.Show graphなどを見て解答を確認する



(読み取りカード)

カードをスキャンするだけで全ての生徒の解答を瞬時に把握することができる

○得られる成果

- ・前時の復習を短時間で行うことができる。
- ・教師の発問に対し,ICTを使用して解答することで,生徒全員が授業に参加し,教員は効率よく,生徒の理解度を確認することができる。
- ・紙ベースで1人ずつ解答を確認しなくてもデータで正答率を確認することができる。

知識の定着を確認したいアンケートをとりた時

Pickers
Googleフォーム

演習や協議がしたい時

Googleスライド

黒板の使用や知識の定着

ICTを活用した復習や演習

バランスとりながら

準備さえできれば、生徒による授業の活用は、効果的&時間短縮！！